

2018年6月15日 香川県の観音寺小学校からアナウンサー朗読会スタート！

OHKではアナウンサーが岡山・香川の小学校などを回り、出張朗読会を実施しています。今年度の第1回は香川県の観音寺小学校。6年生、91人を前に、出張朗読会が開かれました。観音寺小学校を訪れたのは久保さち子アナウンサー、萩原渉アナウンサー、矢野みなみアナウンサーの3人。45分の授業時間を使って、「発声練習」「外郎売のせりふ」オリジナル「その後の桃太郎」を聞いてもらいました。



観音寺小学校の6年生は「外郎売のせりふ」の発音しにくい言葉にもひるまず、果敢に外郎売の原稿読みにチャレンジしていました。

発音しにくい言葉が続く「外郎売のせりふ」では子供たちにも参加してもらい、ゆっくり、明確に読む練習を繰り返すことで明瞭な言葉が獲得できること。思っていることをちゃんと伝えるために正確に発音することは大切で、アナウンサーはこうした反復練習を積んでいることなどを伝えていました。



出張朗読会は、東日本大震災以後、何かの形で子供たちに「絆」の大切さを伝えていきたいと、備前市在住の童話作家、片山ひとみさんの「まねき福バスのお客さま」という作品を作っていただき、2011年10月25日に岡山県美咲町の美咲中央小学校からスタート。これまでに87か所で開催してきました。



今年度は香川県を中心に100か所を目指して現在開催校を募集中です。岡山・香川の、まだ伺っていない市町村でも実施できればと、アナウンサー一同、「読み」に磨きをかけてお待ちしております。